

## 教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

## ◆新生活に希望膨らませ

4月6日(木)に町内の小学校6校の入学式が執り行われ、114名の児童が新1年生として新しい門出の日を迎えました。

持留小学校では、2名の新入生が上級生たちによる花のアーチで迎えられて入場しました。式では、2年生4名が歓迎の言葉を披露しました。新入生の2名は、「お勉強をがんばりたい。」と期待に満ちた笑顔で話してくれました。

また、同日午後から大崎中学校では100名の生徒を新1年生として迎え、入学式が執り行われました。

式では、安藤晋哉校長先生が「自分で考え判断すること、多くの体験をして良い人間関係を築くこと、自分を鍛え困難を乗り越えることを目標にしてください。」とあいさつしました。

新入生たちは大きな希望を胸に、新たな学校生活に向け、スタートを切りました。



▲持留小学校 新1年生2名



▲大崎中学校 入学式

## 僕の夢 私の夢

## 『かっこいいちく産農家になるぞ』

No.24 持留小学校 6年 池田 藍二

ぼくの将来の夢は、ちく産農家になることだ。理由は、ぼくの祖父母が、ぶたのちく産農家をしていて、小さいころからぶたの飼育を身近で手伝ってきたからだ。

しかし、ぶたの飼育は、大変だ。生き物が相手なので、毎日えさをあげたり、ふんのしよりをしたりしないとイケない。また、ぶたが病気になっていないか、しっかり見てあげないとイケない。ぶたを飼うことは、本当にいろいろな作業が必要だ。

しかし、僕にとっては、その大変さが、ちく産農家の魅力だと思う。それは、世話は大変だけど、ぶたは世話をすればするほど、うれしい表情やしぐさをして、ぼくたちに「ありがとう」の気持ちを伝えてくれるからだ。そんなときは、世話をしている本当によかったなと思う。

体をたくさん動かす仕事だということも魅力的だ。建物の中だけの作業ではなくて、外でぶたのためにあちこち動き回って、作業することはとても気持ちがいいと思う。働いたという実感もわくし、その後のご飯もおいしいからだ。

ぼくは、このような理由で、ちく産農家になりたいと思う。ぼくが大人になるころには、ちく産農家の仕事内容も少しは変わっているかもしれないけれど、どんなことでも対応できるように、今は勉強をしっかりとがんばって、将来はかっこいいちく産農家になりたいと思う。

(原文掲載)